

発行…埼玉県社会保険労務士会 大宮支部 広報部 発行日…平成27年1月1日
ホームページアドレス <http://www.sr-omiya.net>



新年のご挨拶

支部長 大久保 悟

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、会員各位を始め行政諸機関、関係団体等々よりご支援ご協力を賜りお蔭様で全ての事業について順調に遂行させて頂きましたこと理事各位を代表し衷心より御礼を申し上げます。

さて、社労士業務の環境変化は増々厳しく社会保険未加入問題、公的年金徴収率向上への取組み、労働環境の向上を目途にした公契約条例への取組みなど労働環境・社会保障全般に広がっています。

これらの全面的解決を目指して、先頃内閣府よりマイナンバー（社会保障・税番号制度）について「概要資料」が公表されました。それによると、導入の趣旨として「番号制度は、複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行う基盤であり、社会保障・税制度の効率性、透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤である、としています。内閣府はその効果として6点の事項を挙げています。

- 1、より正確に所得把握が可能となり、社会保障や税の給付と負担の公平が図られる。
- 2、真に手を差し伸べるべき者を見つけることが可能となる。

- 3、大災害時における真に手を差し伸べるべき者に対する積極的な支援に活用できる。
- 4、社会保障や税に係る各種行政事務の効率化が図られる。
- 5、ITを活用することにより添付書類が不要となる等、国民の利便性が向上する。
- 6、行政機関から国民にプッシュ型の行政サービスを行うことが可能となる。

社労士にとって、平成28年1月以降の各種給付等の申請については、申請を受けた行政機関が、直接関係各機関に照合を行うことで情報を取得可能となるため提出書類等大幅に削減され簡素化されそうです。

また、歳入庁構想に併せて、現行基礎年金の年金受取りは「社会保険方式」によっているところ「全額税方式」にとの議論があります。現在の公的年金の未納問題に向けた解決を据え置き、税方式対応の議論には違和感を隠せません。

以上、社労士を取り巻く環境は、待ったなしに電子申請への更なる理解と強固な導入を示唆しているように見えます。

年金や社会保障の有り方、産業構造の変化による多様な働き方の基幹にあるのは、就労環境の整備であり、特に関与先経営者様の理解と意識改革が求められており社労士の役割は、更に重要となってくると予想されます。

結びに、新年度も会員の皆様ご家族の皆様にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。



新年のご挨拶



さいたま労働基準監督署
署 長 荻谷 賢一

新年あけましておめでとうございます。

埼玉県社会保険労務士会大宮支部会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、大久保支部長様をはじめ、会員の皆様には、旧年中は労働基準行政の推進に多大なご支援、ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、昨年は化学物質のリスクアセスメントの実施や労働者の心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェックの実施などを内容とする「労働安全衛生法の一部を改正する法律」が公布され、改正項目ごとに施行時期は異なりますが、本年12月1日からはストレスチェックの実施等が施行されます。

当署におきましては、いじめ・嫌がらせに関する相談等が年々増加するなか、精神障害の労災請求件数も増加傾向を示すなど、各事業場におかれても法改正に

対応していただくなど職場におけるメンタルヘルス対策の取組は大変重要な課題となっています。

さらには、昨年11月に「過労死等防止対策推進法」が施行され、過重労働による脳・心臓疾患の原因となっている長時間労働の抑制、適正な労働時間管理が喫緊の課題です。

一方、管内の労働災害は、長期的には減少傾向にありますが、休業4日以上死傷災害は、平成24年以降1,300件台で推移しほぼ横ばいの状況です。今年は、「埼玉第12次労働災害防止計画」の中間年であり、労働災害の着実な減少を図り計画目標を達成するため中小規模事業場のリスクアセスメントの普及促進が必要です。

このような中で、当署としてはメンタルヘルス対策の推進による健康障害防止、リスクアセスメントの普及促進による労働災害防止、過重労働による健康障害防止対策を推進してまいります。

会員の皆様には引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴支部の益々のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



大宮公共職業安定所
所 長 柏保 富廣

新年あけましておめでとうございます。

大久保支部長様をはじめ会員の皆様には、日ごろより当所の業務推進に、多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の雇用失業情勢を見ますと、緩やかな景気回復の下、新規求人数が増加し、全国的に有効求人倍率も上昇基調で推移している状況にあります。

こうした中、ハローワークでは、申込みされた求人を早期に充足させるため、求職中の方々への積極的な求人情報の提供やミニ面接会の実施、担当者制による個別支援等、能動的なマッチングに取り組んでいます。また、昨年9月には、ハローワークの求人情報のオンライン提供が開始され、地方自治体や民間

事業者等へ求人情報を提供して、ハローワークに申し込まれた求人に対するマッチングの強化を図ってまいりました。

雇用保険の適用状況をみると、昨年9月末日現在の適用事業所数は11,819事業所、被保険者数が299,813人といずれも前年同期比で2.2%、3.2%増加しており、年々増加している状況にあります。

このため、事業主の方々の利便性の向上や、適用窓口の混雑緩和のためにも、雇用保険関係手続の電子申請の周知、利用促進に努めているところです。特に、平成23年11月に離職票の交付を伴う雇用保険資格喪失手続きが追加されたことから、申請件数は大幅に増加している状況です。

今後も電子申請の利用促進がより一層進展するよう努めることとしており、併せて適正かつ迅速な事務処理に努めて参りますので、引き続き一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、貴支部並びに会員の皆様の益々のご発展とご健勝をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全国健康保険協会 埼玉支部
支部長 柴田 潤一郎

新年あけましておめでとうございます。

埼玉県社会保険労務士会大宮支部並びに会員の皆様には、お健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素より、健康保険事業運営につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

協会けんぽは今年で設立から7年目に入り、新たな保険者を「創建」する仕上げとなる業務・システム刷新をいよいよ迎えることとなりました。

これに伴い、各種申請書の変更など、会員の皆様のご協力を賜りながら、加入者及び事業主の皆様の利益のさらなる実現を図る大きな改革を進めてまいります。

一方で平均保険料率10%というこれまでにない高い水準となっており加入者及び事業主の皆様のこれ以

上の負担は限界にある中、昨年6月に埼玉支部として初めて埼玉県大会を開催し、11月の全国大会などを通じて、医療保険制度改革における協会けんぽの財政基盤強化の緊急性、必要性を関係方面に強く訴えてまいりました。協会けんぽは加入者の皆様の医療を確保し国民皆保険制度を堅持していくため本年も引き続き全力で取り組んでまいります。

また埼玉支部では、医療関係情報の分析を通じて、埼玉県の医療提供の状況、健康状況などから「データヘルス計画」を策定し、特定健診の受診勧奨や重症化予防など、加入者の皆様の健康保持増進、さらなる業務・サービスの改善を行い、効果的な業務運営を推進してまいります。

今後とも協会けんぽ埼玉支部の健康保険事業の推進にご理解をいただき、会員の皆様より様々なご意見を賜るとともに、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉県社会保険労務士会大宮支部並びに会員の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



大宮年金事務所
所長 神農 和正

新年あけましておめでとうございます。

埼玉県社会保険労務士会大宮支部並びに会員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、平素から年金事業の運営に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

なお、当年年金事務所での窓口年金相談並びに街角の年金相談センター大宮での相談業務を担っていただいていることにつきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、日本年金機構は発足から6年目を迎えております。

昨年は、5年間の第1期中期目標期間の事業運営につきまして、厚生労働大臣より評価を受けましたが、年金記録問題への対応や基幹業務におきましては皆様のご理解とご協力によりまして、概ね良好な評価をいただくことができました。

しかしながら、事務処理誤りの発生等によりコンプ

ライアンスの確保の面では、厳しい評価となっており、公的年金制度に対する国民の信頼の確保という日本年金機構設立の目的の実現に向け、更なる努力を重ねる必要があると、されているところです。

本年は、第2期中期目標期間となりますが、第1期の反省を踏まえ、特に、基幹業務の正しく確実な実施と、年金制度に対する信頼のバロメーターとなる国民年金保険料納付率の向上に取り組んでまいります。

また、より地域に密着した年金事務所として、年金相談によるお客様サービス、地域年金展開事業により制度改革をはじめとした制度の周知説明を進めてまいります。

埼玉県社会保険労務士会大宮支部の皆様には、事業主、従業員並びに地域住民皆様の身近な相談者として、年金事務所の各種の取組みにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、埼玉県社会保険労務士会大宮支部並びに会員の皆様の、ご多幸と益々のご発展を心から祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。



業務開発部研修活動

業務開発部長 大沢 亘

支部の皆様には、常日頃より、ご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今年度の業務開発部の研修は、建設業における安全衛生教育の必要性和導入方法等、実務を中心に実施してまいりました。また、年金に関しましても、重要な法改正が続き、より複雑な内容になってきたにもかかわらず、多くの支部会員が年金制度への知識を深めることができました。

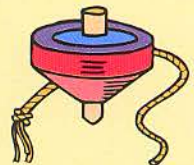
業務開発部の研修も定例会を含め、5講座を残すのみとなりました。4月から既に22の研修会並びに定例会を実施し、延べ600名以上の会員にご参加いただきました。改めて会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成26年

日 付	10月2日	10月8日	10月4日	11月1日	11月15日	11月28日	12月6日	12月18日
講 師	平田会員	馬橋弁護士	岡安会員	岡安会員	河原会員	駒場会員	岡安会員	平田会員
内 容	安全衛生でコスト削減	定例会 社労士ADR活動への期待	遺族年金	未支給年金 遺族年金	労働紛争と 社労士-その2	人口減少時代における 人事制度	併給調整 パターン	定例会 安全衛生における 社労士の役割と 業務への広がり
場 所	支部事務所	ソニックシティ	支部事務所	支部事務所	支部事務所	支部事務所	支部事務所	市民会館 おおみや

平成27年

日 付	1月10日	1月24日	2月1日	3月7日	3月18日
講 師	岡安会員	大久保会員	岡安会員	岡安会員	年金グループ
内 容	離婚分割	これからの 顧客開拓のための 新人研修	高齢・遺族障害 のケース別 特別事例	27年度 年金改正	年金改正 遺族年金
場 所	支部事務所	支部事務所	支部事務所	支部事務所	産業振興会館



市民・区民まつりで年金・労働相談を開催

富田 米男



社会保険労務士制度推進月間の事業として、今年度は、10月18日（土）、19日（日）に中央区区民まつり、11月3日（祝）に桶川市民まつり、11月8日（土）に見沼区民まつりにおいて、埼玉県社会保険労務士会大宮支部として、労働年金相談を3か所、4日間に

わたって開催しました。

ほとんどが年金に関する相談でしたが、中央区区民まつりには、2日間で50人、桶川市民まつりには27人、見沼区民まつりには32人の、多くのお客様が相談に来られました。

おとしまで、中央区の区民まつりの2日だけだったものが、昨年桶川、今年は見沼区と増えました。「来年は、駅を会場にしたら」という意見も出ています。

業務開発部のメンバーが中心でしたが、今回の相談員に参加していただいた先生方におかれましては長時間お疲れ様でした。

大宮支部の勤務等社労士の皆さんに8月にアンケート調査を実施しました。この調査の目的は、大宮支部会員の33%強を占める勤務等会員の実態を把握して、支部として今後諸施策を講じるに当たっての参考資料として活用して頂くことを期待して調査を行いました。調査結果の概要は以下の通りです。

1. 回収率ですが、119名の勤務等会員のうち56名の方から回答を頂きました。回収率は47.1%で、平成20年10月から21年1月にかけて行われた連合会の社労士基本調査の際の24.1%と比較しても、倍近い数字でかなり高い回収率であり、関心の高さを窺い知ることができます。
2. 勤務の有無ですが、48名の方が現在勤務しておられ、勤務しておられない方が8名ということで、85.7%の方が勤務しておられます。
3. 勤務場所ですが、同じく48名、85.7%の方が、埼玉県（35名）、東京都（13名）に勤務しておられます。
4. 雇用形態ですが、正社員（役員を含む）の方が25名（48.2%）、パート、契約社員等のその他の方が29名（51.2%）で、最近の非正規が4割近い雇用実態を反映しているように思います。
5. 業種ですが、公共団体9名、製造業8名、サービス業6名、金融・保険業5名、社労士関係5名、その他とバラついていきます。
6. 担当業務ですが、人事・労務関係の方が23名（41.1%）と圧倒的に多く、経理・調達関係5名、営業関係5名、その他となっております。
7. 勤務先の理解ですが、例会等の参加に理解ありが21名（37.5%）、理解なしが22名（39.3%）と拮抗しております。社労士等の資格手当ありが4名（5,000円～30,000円）、なしが41名です。先述の基本調査では理解ありが68.8%ですから、些か残念な結果に終わっています。
8. 開業の意志ですが、近く開業したい方が7名、将来開業したい方が29名で合計すると36名（64.3%）の方が、開業を希望しています。勤務等社労士の大半の方が、開業予備軍であるという実態が浮き彫りにな

っています。因みに開業の意志のない方が17名（30.4%）、未定が1名です。

9. 希望する研修ですが、人事労務関係の実務、労働時間、賃金、就業規則、年金関係、事務経営のノウハウ、法改正等についての研修を希望されている方が多くみられました。これも開業に備えておられる会員あるいは人事労務関係に日常携わっておられる会員の方向性が反映された結果ではないかと思われます。

10. 例会の開催日については、半年に1回程度、平日夜間あるいは日曜日の開催について希望される方が20名（35.7%）、必要ない方が10名（17.9%）、どちらでも良い方が24名（42.3%）という結果になっております。

11. 勤務等会員も支部役員の一翼を担うべきであるについては、あるが22名（39.3%）、多忙でできないが23名（41.1%）、ないが9名（16.1%）でした。

12. 勤務等部会の設置については、希望する方が13名（23.2%）、必要ない方が8名（14.3%）、どちらでも良い方が34名（60.7%）という結果になっております。

概要は以上の通りですが、先述したように大半の勤務等会員が開業を希望されており、事務所経営のノウハウや人事労務の実態、就業規則の作成、年金等の社労士として基本的な知識を習得する研修希望が多く寄せられています。この傾向は、連合会が重点的な施策として、労使関係を含む「3号業務」に力を注いでおり、労務管理の専門士業として、規制改革、司法制度改革に積極的に関与して業務範囲の拡大に繋げてきた結果であると思われます。

幸いなことに、大宮支部は県会で唯一支部事務所を構え、開業・勤務等会員の区別なく、参考図書の配布を始め先輩会員の有志や外部講師が中心となって実施される諸々の研修に自由に参加することができ、実務的な知識や経験を習得できる場を提供して参りました。

今回のアンケートの調査結果を踏まえ、更に、勤務等会員のみならず開業会員の皆様のご意見や提言を賜り、より効率的で効果的な研修会の企画や事業計画など支部運営に反映されることを切望して止みません。

馬橋先生の講演会のお礼と報告

大沢 亘



馬橋 隆紀 先生

平成26年10月8日(水)、ソニックシティ4階市民ホールにおいて辯護士馬橋隆紀先生による最近の個別労働紛争の傾向と解決の具体的事例(社労士ADR活動への期待)について講演会を開催いたしました。当日労働局で同じように辯護士先生の話があり、また2回目ということで業務開発部としては聴講者が少ないのではないかと心配しておりましたが、理事の皆様の全面的な協力もあり、87人の聴講者の参加をいただくことができました。

研修会終了後、他支部会員からも活発な意見や支部事務所に内容に対するお礼のメールをいただき講演内

容について、社労士会員の関心の深さを伺うことができました。

お陰様で講演会は、まずまずの成功でした。そのあと、馬橋先生を囲んでの懇親会も会員同士の意見交換もあり、盛り上がりを見せて終了することができました。

後日、お礼も兼ねて他支部の先生や支部会員とお話したところ、内容が弁護士活動の実務経験の中からお話をしていただき、われわれが個別労働紛争を手掛けるうえで、注意して行わなければならない点が明確になったとの感想をいただき、今後の社労士ADR活動に少しでも役に立ったのではないかと思います。

今回の企画は大宮支部の理事をはじめ会員の皆様の協力により乗り切ることができ、改めて心から感謝申し上げる次第です。ありがとうございました。

漬物石の話

城戸 正幸



私が小学生になって、初めての修学旅行(日帰り)は長瀨だった。長瀨は、埼玉県秩父郡にあり、荒川上流部の岩畳のある渓谷である。

バスの中で食べる「お菓子」は、事前に少額の予算が決められており、生徒各自が買っていく。当時バナナは高額で、

バナナ1本で予算の半分以上を占めた。

それでも、普段口に入らぬバナナが食べたくて、多くの同級生が修学旅行の定番としてアイテムの中に加えた。観光バスの中で、私はウサギのように、前歯で少しずつ噛みながらバナナを食べた。少しでも長い間、バナナを味わうためだ。今では、考えられないことだが、1本のバナナが幸せを与えてくれる時代だった。

旅行の朝、母が「漬物の重しにする石をお土産に持ってきて」という。私は長瀨の河原で、母の要望に沿うような、漬物石探しをすることになった。

底が平らで、適当な重さがある石に出会った。旅行の最中に漬物石を探しているのは、子供ながらまづいと思い、先生や周囲に見つからないようにリュックサックの底に、その石を押し込んだ。

学校から家まで2km以上はある。小さな体に、漬物石は重い。帰途、リュックサックのひもが肩に食い込み、何回も休みながら家にたどりついた。母との約束を果たすために、母の喜ぶ顔を見たいため、頑張って母に漬物石を届けた。

今では、この漬物石(下部写真)は私の心の宝物だ。

この子供には過重な課題は、「頑張ること」を私に与える母の教育だったように思う。その後の私の人生に大きな影響を与えることとなった。

一方、知人の女性は「私、頑張れるときでも頑張らないの」をモットーに人生を送っている。

先日のことだ。20m先の横断歩道の信号機は緑だった。今、駆ければ間に合う。そのとき、ふと彼女の生き方を試してみようと思い、頑張らずにそのまま歩いてみると、信号機が赤に変わった。しばらく待つことになったが、心穏やかだった。不思議な感じだった。

頑張るすぎず、ときには頑張らない人生がおすすめか。



漬物石

「支部対抗ソフトボール大会」に参加して

中嶋 禎



10月4日（土曜日）戸田市の「彩湖道満グリーンパーク」で支部対抗ソフトボール大会が開催されました。数日後に大型台風接近の予報もあり晴天とはなりませんでした。過ごしやすい気候で運動日和となりました。

私自身は去年に続き2回目の参加となります。大宮支部はここ数年1回戦で勝利していないとのことでしたので、まずは見た目から？とユニフォームも新調し、1回戦突破、いや優勝を目標に練習に励んでまいりました。大会直前の練習時に初戦の相手が前年覇者の強豪川越支部と聞き、チーム内に不穏な空気が流れまし

たが、1回戦で勝てば優勝も夢ではないと気分を切り替えて大会に臨みました。

試合は、大宮先攻でプレーボール。両支部とも初回は無得点。2回表に大宮支部が3点先制し、お祭り騒ぎしたのも束の間、その裏川越支部の猛攻にあい6失点。その後1点返し4-6と2点差まで詰め寄るも、最後に5点を奪われ、時間切れでそのままゲームセット。健闘したものの悔しい敗戦となってしまいました。

続く交流戦は1回戦の敗者同士の対戦です。相手はこれまた強豪で前年3位の熊谷支部。両支部とも一進一退の攻防で大宮支部1点リードで迎えた最終回に2点を奪われ、まさかの逆転負けとなってしまいました。

今大会は未勝利という結果に終わりましたが、大宮支部が誇る美人女性応援団の活躍で応援賞をいただくことができました。来年こそは勝利の美酒に酔いしれるためにも、仕事はほどほどに？練習に取り組んでいこうと思います。

最後になりますが部員の皆様お疲れ様でした。また支部会員の皆様、ソフトボール同好会は練習にそして飲み会と、楽しく活動しています。皆様のご参加をお待ちしています。

新入会員紹介

開 業

野口 幸哉 平成26年7月15日
野口労務管理事務所

町田 米子 平成26年9月1日
町田米子社会保険労務士事務所

田中 勝興 平成26年10月1日
田中勝興社会保険労務士事務所

勤 務 等

平田 眞司 平成26年10月1日

星野 康史 平成26年10月1日

佐藤眞由美 平成26年11月1日

※開業、勤務等、法人社員間の異動も含みます。



行 事 予 定

1 月

14日 埼玉県会賀詞交歓会
21日 大宮支部賀詞交歓会

2 月

1日～2日 旅行ハイキング倶楽部親睦旅行
18日 定例会
28日 埼玉県会主催支部対抗ボウリング大会

3 月

5日 関東甲信越地域協議会主催労務管理地方研修会
18日 定例会
22日 自主研究発表会

* 新着情報満載 *

大宮支部HPをご利用下さい。

ホームページ

<http://www.sr-omiya.net>

本34号に関する感想、意見等は支部宛にメールでお寄せください。次号の参考にいたします。

大宮支部

E-mail: info@sr-omiya.net

同好会紹介

ボウリング同好会

メンタルが重視されるスポーツのひとつとも言われていますが、その一方で比較的手軽にできるスポーツでもあります。

ボウリング同好会では、仲間との親睦を深めることと、日頃のストレスを少しでも発散する事を目的としております。

随時、仲間を募集しております。



ソフトボール同好会

親睦が深められる、明るく楽しい、活気にあふれた同好会です。日頃のストレス発散、運動不足の解消も行いながら、楽しむことが出来ます。

初心者の方、熱い応援をして戴ける方、かつての野球少年・少女、今も現役の方まで、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



ゴルフ同好会

大宮支部ゴルフ同好会は、ゴルフの腕前向上より、仲間との友好が目的です。

御一緒にゴルフで日頃のストレスを発散しましょう。



旅行ハイキング倶楽部

当同好会では、東京下町散歩・花見・旅行等を実施致しております。行事では大先輩、先輩、後輩等の色々な方と仲間になります。是非お気軽にご参加下さい。



同好会への加入申込み及び問い合わせは「大宮支部事務所」へ

編集後記

シャロームのカラー刷りも4回目となりました。すっかりおなじみの体裁となってきましたね。

今期の広報部メンバーでの発行も今回が最後となります。消費税のUP(今年は先送りとなってしまいましたが)、円安、また少子高齢化等生活に関わることが大きく変化しており、社労士の役割がますます多くなってくる予感がします。

これからの会員の皆様のご活躍を期待いたします。

(S.O.)

ひと宮

2012年の生理学・医学賞の京都大学山中伸弥教授に続いて、今年のノーベル物理学賞を赤崎勇・名城大学教授、天野浩・名古屋大学教授、中村修二・米カルフォルニア大学教授が「青色発光ダイオード(LED)」の発明と実用化の業績(「LED照明」は省エネ照明としてすでに多大な貢献をしている。)で授与されたことはまたまた日本の快挙である。

ところで中村教授は「怒りがすべてのモチベーションだった。怒りがなければ何も成し遂げられなかった。」と「自分の活動の源は怒り」と反骨精神を原動力にしているが、目標としては、「自分がやりたいこと、自分が目指すものがあれば、たとえそれが将来的にあまり日が当たりそうでなくても、思い切って進むべきだ」とも「好きなことを見つけるのが大事。そうすれば苦しいことも耐えられる」とも語っている。

赤崎教授も「流行に乗らず、自分が本当に好きなことをやりなさい。」と同様なことを述べている。

天野教授は「人の役に立つ思いでやってきたのが認められてうれしい」、「必ずできるとの信念があれば。あとは諦めないことだ。」と述べている。

「怒り」を動機にすることもないだろうが、三人のノーベル賞受賞者のように自分が目指す道を見つけ、粘り強く歩んで各々の明るい未来を見つけよう。

(S.S.)